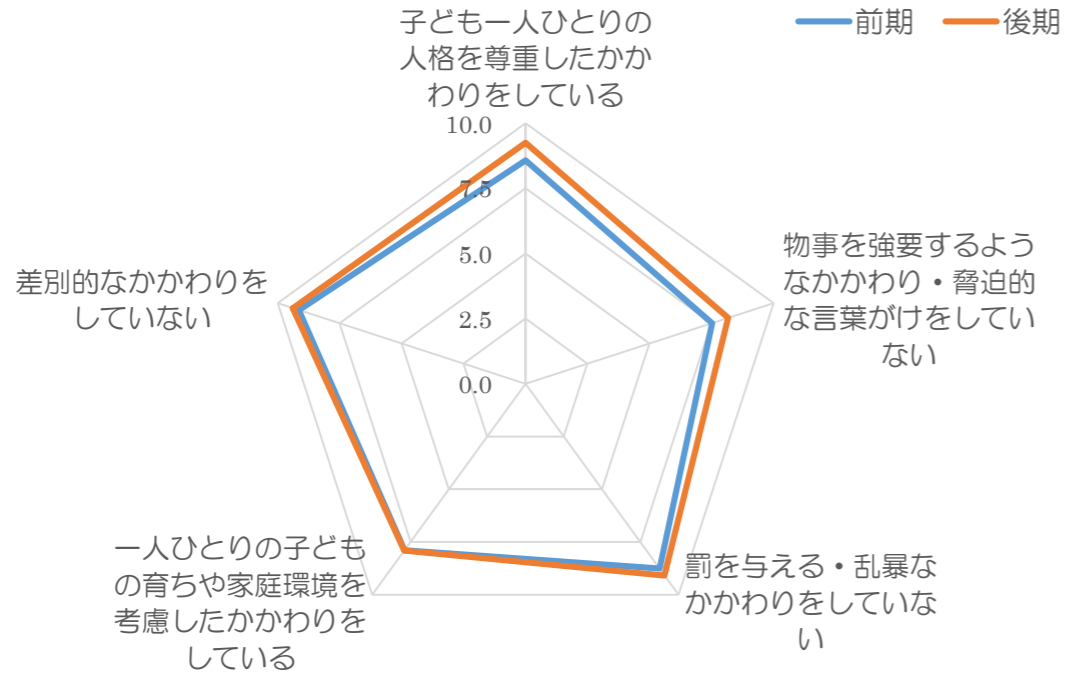


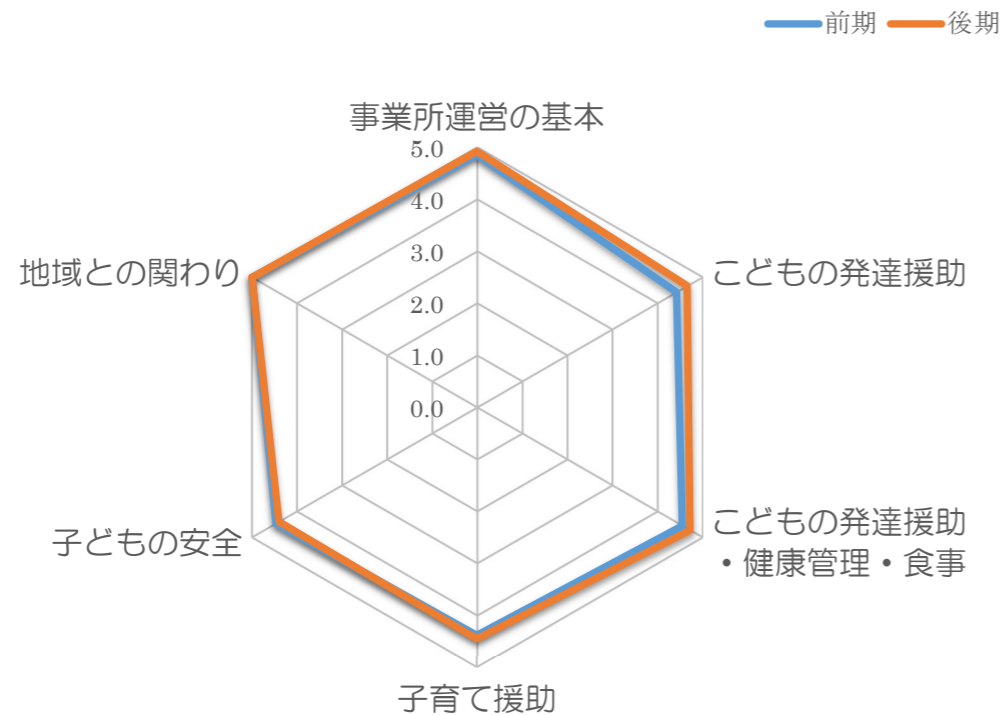
聖マルコ保育園

令和4年度 自己評価

職員自己評価



園評価



総評

保育内容・方法

● コロナ禍の保育

新型コロナウイルス感染拡大防止のため様々な行事の制限はあったが、3～5歳児の合同礼拝は隣接するグラウンドで野外礼拝を行うなど、子どもたち・職員が元気に過ごすことが出来るように保育を工夫してすすめていった。

クリスマスページェント（聖誕劇）の台本を開園以来、書き換えた。子どもたちの頑張りを保護者だけでなく多くの人に見てもらいたいという担任の思いから、別日に理事長や姉妹園、園に関わる方(9名)をお招きし、2回目の聖誕劇を披露した。お褒めの言葉をいただいたことは、子どもたちの喜び、自信につながっている。

● 職員の連携

職員会や園内研修など子どもの見守りでクラスに残り、会議に参加することが出来なかった職員がいた。各クラスをzoomでつなぎ、会に参加してもらう体制をつくった。日々の保育に必要な情報を共有することが出来、共通理解を図ることが出来た。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、園内の感染者数が増えたときは、密にならないように全体で集まらず、事務所・各クラスでのオンライン会議も行った）

● 障害児保育

障害児保育担当保育士・担任を中心に、豊見城市の公認心理師の指導・助言を受けながら、障害児保育をすすめていった。特定相談支援事業所（ちいろば）、また園児が児童デイサービスを利用しており、園・保護者・児童デイサービスとのモニタリングで情報交換を行いながら園児の保育を行った。個別指導案を元に関わりを考えて取り組むことで、園全体で園児一人ひとりの個別の関わりについて配慮を考えていくことが出来た。専門機関との連携による障害児への対応、保護者への対応を考えていくことにも繋がった。

地域の住民や関係機関等との連携

● 子育て支援

- ・ 小学校教育との接続・連携を円滑に進めるため、公認心理師による巡回相談を行い、園・保護者で子どもたちの育ちを支えることが出来た。
- ・ 思春期保健相談士の徳永桂子先生による講演会を行い、性教育についての学びを深めることが出来た。
- ・ 一時預かりや園児交流の相談・未就学児の発育に関する健康相談・卒園児の子育て相談についての支援活動も行った。

● 地域との関わり

新型コロナウイルス感染拡大のため様々な行事の制限があったが、地域の保幼こ小との情報交換を密に行い、連携の取れる体制を築いた。今後も地域の子育てニーズに応えられるよう積極的に園庭開放及び、地域の子育て支援を行っていききたい。

職員の処遇

事務作業日を設けたり、指定休を組み合わせた三連休制度や、年休取得奨励日を設けるなどして、ワークライフバランスの充実に力を入れた。年次有給休暇の取得率は51%で完全消化する職員と取得率の少ない職員との不公平感を改善していきたい。また、新型コロナウイルス感染による特別休暇を16名に付与した。

評価年月日 令和5年3月31日

評価職員 24名

社会福祉法人 聖公会沖縄福祉会
 聖マルコ保育園
 園長 川満 すわ子